

資料 3

《需要予測手法の検討フロー》

第1期申請時の予測方法をベースとし、第2期開業後の需要を予測

《需要予測フロー》

南北接続線第1期区間開業時(平成27年度)

- ・南北接続(第1期)による乗換利便向上等による需要増
- ・北陸新幹線開業による需要増

- ・TLR利用者数の推移
- ・市内電車利用者数の推移
- ・沿線人口の推移

・富山ライトレール乗降調査及び富山ライトレール利用者アンケート調査 (H22実施)

・富山地鉄市内電車OD調査 (H22実施)

・富山地鉄市内電車利用者アンケート (H23実施)

・富山ライトレール及び富山地鉄市内電車沿線住民アンケート (H24実施)

・新幹線駅周辺地域交通計画調査 (H13実施)

・富山高岡広域都市圏PT調査 (H11実施)

・第二期富山市中心市街地活性化基本計画(H24認定)等

今回の需要予測の対象

南北接続線第2期区間開業時(平成32年度)

- ・南北間の乗換利便性向上による需要増

(仮)永楽町停留場開業時(平成33年度)

- ・(仮)永楽町停留場新設による需要増

・(仮)永楽町停留場沿線住民アンケート(H26実施)

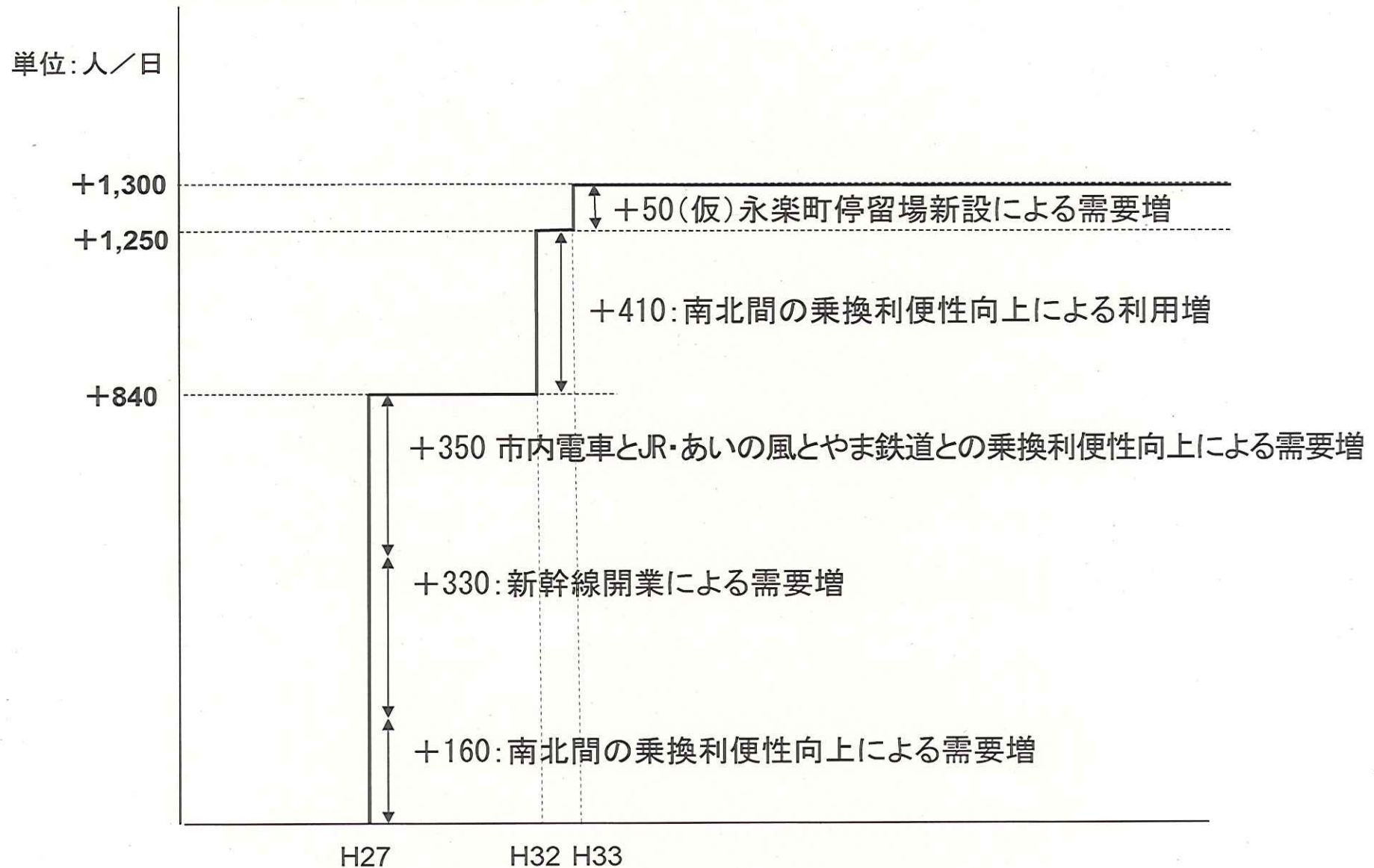
需要予測結果①

【南北接続による需要増の予測結果】

需要予測対象			需要(人/日)	
第1期区間 開業時 (H27~)	南北間の乗換利便性向上による 需要増	現TLR利用者の市内電車乗り込み需要	40	160
		現市内電車利用者のTLR乗り込み需要	0	
		TLR・市内電車沿線住民による新規需要(交通手段の転換、来訪の増加、立ち寄りの増加)	120	
	新幹線開業による需要増	市内電車への乗換需要増	200	330
		TLRへの乗換需要増	130	
市内電車とJR・あいの風とやま鉄道との乗換利便性向上による需要増			350	
第2期区間 開業時 (H32~)	南北間の乗換利便性向上による 利用増	現TLR利用者の市内電車乗り込み需要	90	410
		現市内電車利用者のTLR乗り込み需要	20	
		TLR・市内電車沿線住民による新規需要(交通手段の転換、来訪の増加、立ち寄りの増加)	300	
(仮)永楽町 停留場開業 時(H33~)	(仮)永楽町停留場新設による需要増	TLR区間のみの需要増	20	50
		TLR・市内電車区間を跨ぐ需要増	30	
計			1,300	

需要予測結果②

【南北接続による需要増の予測結果】



富山港線路面電車化の需要予測と利用実績の比較

これまでのところ、市内電車環状線化等の相乗効果もあり、実績値が需要予測を上回っている。

